

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 10 - 10
要綱上の事業名称	(1) 市街地整備コーディネート事業
細要素事業名	鶴住居・片岸地区上水道施設工事に係るマネジメント事業
全体事業費	293,449 千円

委託料（事業費）

総事業費 293,449,000 円

(内訳)	H27年度契約 (27年7月～29年2月)	H28年度契約 (29年1月～29年10月)	H29年度契約 (29年10月～30年4月)	H30年度契約 (30年5月～30年12月)
CMRマネジメント費	41,888,000 円	41,066,000 円	33,181,000 円	65,736,000 円
UR都市機構管理諸費	34,164,000 円	21,394,000 円	18,680,000 円	37,340,000 円
合計	76,052,000 円	62,460,000 円	51,861,000 円	103,076,000 円

事業概要

- 地区名：鶴住居・片岸地区
- 目的

対象地区の土地区画整理事業に併せて整備する上水道施設（配水管等）の工事については、「東日本大震災にかかる水道施設等の災害復旧費」により整備することとなっているが、一括設計施工に伴う独立行政法人都市再生機構及びコンストラクションマネジメント方式により機構と契約している企業共同体へ支払う管理諸費等が災害復旧費対象外となっているため、効果促進事業を活用するものである。

○委託業務内容

釜石市が施行する釜石市片岸地区及び鶴住居地区上水道整備事業において、UR都市機構が受託する下記業務を実施するにあたり、URは区画整理をはじめ各事業を実施するための総合調整を行い、CMRは専門業者への発注手続き、工事の設計・施工調整および他事業との調整（コーディネート）等を行う。

【UR受託業務】

①事業実施のために必要な調査及び測量に関する業務、②水道施設の整備に関する業務、③水道施設の引き継ぎに係る関係書類の作成に関する業務、④交付金等の関係書類の作成に関する業務、⑤水道施設の釜石市への引渡しまでの保全管理業務、ほか

○事業期間

平成27年度～平成30年度

基幹事業との関連性

独立行政法人都市再生機構に業務委託契約している土地区画整理事業等の設計及び施工に合わせ、上水道施設工事も併せて一括設計委託することにより、道路事業等の他事業との連絡調整が円滑になり、復興事業を加速化させることが可能となるもの。

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付してください。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 10
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	津波伝承施設(仮称)整備事業
全体事業費	150,000千円(120,000千円)

【事業概要、基幹事業との関連性】
 東日本大震災での記憶と経験の伝承を行うため、鶴住居駅前地区に「津波伝承施設(仮称)」を整備する。
 「津波伝承施設(仮称)」は、鶴住居での出来事(小中学生の避難行動、鶴住居防災センターでの多数の犠牲)を物語る展示の公開や、語り部による津波体験とその教訓の伝承、防災意識啓発のための体験教育プログラムの提供および追悼行事を実施し、震災伝承の中心を担う。これにより、震災の風化を防ぐとともに、津波の伝承を中心とした地域のつながりをつくりだし、地域づくりの一助とする。

■【事業概要】
 鶴住居小学校・釜石東中学校の児童・生徒がとった避難行動を発災から時系列で示すパネル・検証記録等の展示、鶴住居地区防災センターでの犠牲がなぜ起きたかに焦点を当てた資料・検証結果の展示、ならびにそれらに関する遺物の展示を行う。また、震災前の地域の様子や、復興事業の経過の展示も行う。
 展示の基礎資料としてこれまで行ってきた「震災復興の軌跡保存事業」等で集めた証言・映像のアーカイブを活用する。
 なお、施設整備を行う平成30年度以降において、労務資材費単価増等があったとしても、最終的な全体事業費が、150,000千円を超えることとならないよう実施設計を行い、超過した場合は、超過分の費用は市が独自で財源を確保する。

1 施設概要
 ①施設名称 津波伝承施設(仮称)
 ②整備箇所 釜石市鶴住居町第16地割地内
 ③構造 木造平屋建
 ④床面積 約360㎡
 なお、平成28年度策定の「釜石市公共施設等総合管理計画」においては公共施設の全体面積の削減を目標としていることから、本件伝承施設の整備に合わせて、他の床面積を削減することとする。具体的な削減対象については今後策定予定の施設類型ごとの個別計画の中で検討する。
 当該施設の維持管理費は年間6,000千円を見込んでいるが、これは再来年度以降の他の施設の維持管理コストの縮減で捻出することとする。

2 業務内容
 ①設計費
 ・基本設計 5,994千円(建物及び内装合計額)
 ※**用途内訳申請額9,757千円(差金3,763千円)**
 ・実施設計 21,488千円(建物及び内装合計額)
 ⇒**21,488千円-3,763千円=17,725千円(今回要望額)**
 ②建設工事費 120,614千円
 ※ただし、実施設計により、工事費は変更の予定あり。
 ③什器類 6,589千円
 総額 154,685千円
 ◇全体事業費 150,000千円
 *全体事業を超える費用については、市が独自で財源を確保する。

3 事業実施期間
 ・基本設計 平成29年3月31日～平成29年7月31日
 ・実施設計 平成29年10月10日～平成30年2月28日(建築確認に要する期間を含む)
 ・施設整備 平成30年4月1日～平成30年12月31日

※ この様式は、原則として、参考様式第20及び参考様式第23の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 3 - 1
要綱上の 事業名称	(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業
細要素事業名	室浜集会所整備事業
全体事業費	31,282千円 (国費25,025千円)
<p>【事業概要、基幹事業との関連性】 釜石市室浜地区では、防災集団移転促進事業（室浜）を導入してまちづくりを進めているが、被災した地域住民のコミュニティ活動を支援することを目的に、『(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業』として、集会施設を整備するものである。</p> <p>■【業務概要】</p> <p>1 施設概要</p> <p>①施設名称 室浜集会所</p> <p>②整備箇所 釜石市片岸町第10地割32番地69 (用地は防災集団移転促進事業（室浜）で整備のため購入不要)</p> <p>③構造 木造1階建</p> <p>④延床面積 66.11㎡ 内訳 会議室1：16.56㎡ 会議室2：13.25㎡ 玄関・納戸・廊下・トイレ等：36.3㎡</p> <p>2 業務内容</p> <p>実施済</p> <p>①設計費 2,484千円【国費1,987千円】 ※使途内訳申請額3,797千円（差金1,313千円）</p> <p>今回要望</p> <p>②工事監理費 1,225千円 [測量設計費] ⇒1,225千円-1,313千円 = △88千円 (今回要望額)</p> <p>③建設工事費 25,251千円 ④し尿浄化槽設置工事費 1,625千円 ⑤外構工事費 697千円 [本工事費(③～⑤)] ⇒27,573千円 (今回要望額)</p> <p>今回要望額合計 27,485千円【国費：21,988千円】</p> <p>全体事業費 31,282千円【国費：25,025千円】</p> <p>3 事業実施期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日 ※設計完了：平成29年 8月31日 ※着工予定：平成29年10月10日</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 0 及び参考様式第 2 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 14
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	観光交流拠点整備事業（仮称）
全体事業費	205,001千円（164,000千円）
<p>【事業概要、基幹事業との関連性】 釜石市では、鶴住居地区に津波復興拠点整備事業を導入して慰霊や防災・地場産業（漁業）振興を通じた交流拠点整備区域を形成し、市内外の方々の交流をはじめ防災教育や被災地の情報発信機能を有した観光の拠点として計画している（市の復興まちづくり計画の基本目標「人やもの、情報の交流拠点づくり」として位置付）。 本事業では、平成27年度に世界遺産登録された橋野鉄鉱山や三陸復興国立公園、三陸ジオパーク等への観光客誘致の拠点としての機能を持たせ、観光面からの生業再生を促進しようとするため、海産物を中心とした産直、コミュニティスペースを活用した地元料理を提供するコミュニティレストラン、トイレを有した観光交流拠点を整備するものである。</p> <p>1. 施設概要</p> <p>(1) 施設名称 鶴住居地区観光交流拠点施設（仮称） (2) 整備箇所 釜石市鶴住居町第16地割地内 (3) 構造 木造平屋建 (4) 床面積 約497㎡</p> <p>2. 業務内容</p> <p>(1) 設計・監理 19,008千円 ①基本設計 4,320千円 ※使途内訳申請額4,418千円（差金98千円） ②実施設計 14,688千円 ⇒14,688千円-98千円=14,590千円（今回要望額）</p> <p>(2) 施設整備 185,993千円 ①産直（水産物）・物販スペース：約139㎡ ②交流スペース（観光交通情報案内、コミュニティレストラン）：約117㎡ ③事務スペース（倉庫、事務所等）：約67㎡ ④トイレ：約42㎡ ⑤通路等（搬入路、風除室含む）：約132㎡</p> <p>※ただし、実施設計により、工事費等は変更の予定があります。</p> <p>3. 事業実施期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計：平成29年5月8日～29年7月31日 ・実施設計：平成29年10月10日～30年2月28日 ・施設整備：平成30年3月1日～30年12月25日 	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 4 - 10 - 1
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	災害復興公営住宅駐車場整備事業（東部（天神町））
全体事業費	10,106千円

【事業概要、基幹事業との関連性】

東日本大震災による津波により壊滅的な被害を受けた釜石市において、釜石市内の被災者に向けた災害公営住宅として、官民連携による建物買取型復興公営住宅買取事業方式により住宅を整備したところであるが、今後完成予定の入居者用の駐車場を整備するものである。

■概要

- 基幹事業 災害復興公営住宅建設事業（東部（天神町））
- 駐車場規模
東部天神住宅（戸数52戸）：1,560㎡程度、52台

■積算内訳

- 本体工事費 10,106千円
- 事業費計 10,106千円

■工期

- 東部天神地区 仮設店舗H30年3月撤去後整備
- スケジュール H30年4月～5月 実施設計
7月～9月 整備工事

■ 東部天神住宅の駐車場整備計画は、現在仮設店舗が入居している土地に整備の予定となっております。
平成30年3月末での退去予定となっておりますので、その後整備を行うスケジュールです。
現在入居している方々には、隣接している仮設住宅の周りの空きスペース（舗装等ない未整備の土地）を利用させていただいておりますので東部天神住宅の入居者が安心して利用できるように整備するものです。

※ この様式は、原則として、参考様式第20及び参考様式第23の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 4 - 21 - 3
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	災害復興公営住宅駐車場整備事業（東部（中心部））
全体事業費	10,200千円

【事業概要、基幹事業との関連性】

東日本大震災による津波により壊滅的な被害を受けた釜石市において、釜石市内の被災者に向けた災害公営住宅として、官民連携による建物買取型復興公営住宅買取事業方式により住宅を整備したところであるが、今後完成予定の入居者用の駐車場を整備するものである。

■概要

基幹事業 災害復興公営住宅建設事業（東部（中心部））

駐車場規模

 只越5号住宅（戸数22戸）：420㎡程度、14台

 浜町住宅（戸数31戸）：930㎡程度、31台

 ※1世帯当たり1台整備

 ※只越5号住宅については、戸数22戸に対して整備予定は14台であるが入居者で駐車場を現在希望する方が12人なので希望数は満たしている。

■積算内訳

本体工事費 10,200千円 （只越5号：3,494千円、浜町6,706千円）

事業費計

 10,200千円

■工期

只越5号 H30年5月完成予定（予定）

 浜町 H30年12月完成予定（予定）

スケジュール

只越5号	H29.1月～H29.9月	実施設計
	H29.10月～H30.5月	整備工事
浜町	H29.7月～H30.1月	実施設計
	H30.1月～H30.12月	整備工事

買取時期

只越5号	H30.5月（予定）
浜町	H30.12月（予定）

※ この様式は、原則として、参考様式第20及び参考様式第23の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 4 - 23 - 1
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	災害復興公営住宅駐車場整備事業（両石）
全体事業費	5,409千円
<p>【事業概要、基幹事業との関連性】</p> <p>東日本大震災による津波により壊滅的な被害を受けた釜石市において、釜石市内の被災者に向けた災害公営住宅として、官民連携による建物買取型復興公営住宅買取事業方式により住宅を整備したところであるが、今後完成予定の入居者用の駐車場を整備するものである。</p> <p>■概要</p> <p><input type="checkbox"/> 基幹事業 災害復興公営住宅建設事業（両石）</p> <p><input type="checkbox"/> 駐車場規模 両石（戸数25戸）：750㎡程度、25台</p> <p>■積算内訳</p> <p><input type="checkbox"/> 本体工事費 5,409千円</p> <p><input type="checkbox"/> 事業費計 5,409千円</p> <p>■工期</p> <p><input type="checkbox"/> 両石 H30年10月完成予定</p> <p><input type="checkbox"/> スケジュール H29.4月～H30.3月 実施設計 H30.3月～H30.10月 整備工事</p> <p><input type="checkbox"/> 買取時期 H30.10月（予定）</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第20及び参考様式第23の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。